

(政務活動費用)


(様式1)

出張報告書

令和1年11月29日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之 

次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	草島 守之
出張先	帯広市
期間	令和1年11月12日 ~ 令和1年11月12日 (1日間)
用務	北海道市議会議長会道東支部 議員研修会
調査(研修)結果等の概要	別紙の通り
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

観光振興の課題と取り組み

北海道は雄大な大自然と豊富な農産・海産物を抱え、国内において自給率 200%以上を誇る食糧生産とともに食糧供給基地としての使命を果たす。

その東部に位置する釧路市は、南は太平洋の海原に面し北は日本百名山に名を連ねる阿寒岳に至り、阿寒摩周と釧路湿原の二つの国立公園を背景に自然豊かな魅力を発しています。沿岸部は一年を通して冷涼で7月から9月の最高気温平均が約 20° であることから、夏期には長期滞在地として道内でも注目を集めるなか、主に6月から8月にかけて霧が発生することもあります。また物流を支える「港」「空港」「鉄道」「道路」が整備され、そして「高速道路網」が釧路まで延伸されたことから将来的に物流・観光面への波及効果に大きな期待を寄せる。

このような釧路市の特徴のもとで低迷する従来の基幹産業(水産・石炭・紙・パルプ)を補うため観光分野へ力を注ぐ現在、冬期間を含めた観光客誘致が課題に挙げられている。北海道はじめ釧路地域でも冬期間観光のメニュー作りに挑戦する中、一部でスキーなど効果が出ているが夏期には及んでいない。

そこで今回は北海道市議会議長会道東支部議員研修会へ出席し、釧路地域の課題解決のヒントを見出したい。

演題は「十勝をアウトドアの聖地に」

講師に(株)デスティネーション十勝 代表取締役社長 河合秀明氏(34歳)を招く。

経歴紹介 1985年生まれ 兵庫県出身

2012年10月 (株)スノーピーク入社 同11月姫路店店長から京都店店長、梅田店店長、関西エリアマネージャー、西日本エリアマネージャー

2018年9月 (株)デスティネーション十勝 専務取締役

2019年6月 同社代表取締役社長に就任し現在に至る

河合氏の思いや目指す姿は(株)スノーピークの創業精神が原点。

スノーピークは新潟県三条市に本社を置くアウトドア総合メーカーおよびそのブランド名(Snow Peak)で世界に先駆け「オートキャンプ」のスタイルを生んだ会社でもある。「自らもユーザーである」という考えから「自分達が本当に欲しい製品」を作ること、それまでなかった「自然の中で豊かで贅沢な時間を過ごすアウトドアの楽しみ方」を確立してきた。創業以来一貫して革新的な新製品の開発を行い、顧客本位の高品質なモノづくりを続けている。現在では日本国内をはじめ海外にもグループ会社を持ちオートキャンプ・登山用のテントや寝具・タープ・チェア・マグネットカップ等のアウトドア用品や、自然志向のライフスタイルを実現するアイテム等の販売を行っている。このスノーピークと連携を図りながら将来的に「十勝のアウトドアの魅力の世界へ」「十勝をアウトドアの聖地に」を目指すために(株)デスティネーション十勝が誕生し、河合氏の手腕に期待がかかる。

次に会社概要では

社名 株式会社 デスティネーション十勝
所在地 〒080-0023 帯広市西13条南8丁目1 とかちむら内
TEL 0155-66-6191 FAX 0155-66-6192
代表者 河合 秀明
設立 平成29年4月5日
資本金 3,050万円
株主 株式会社 スノーピーク
株式会社 電通
帯広市
株式会社 JTB
株式会社 北海道銀行
株式会社 北洋銀行
帯広信用金庫

代表者挨拶

十勝エリアは日高・大雪の麓にパッチワーク状に広がる農村景観や恵まれた自然環境をはじめ、本格的なアウトドア活動を楽しめるワールドクラスのフィールドを有しています。私たち「デスティネーション十勝」は、こうした自然空間を最大限活用し、十勝エリアの新たな観光ブランドを創出することを目的に2017年4月に発足しました。十勝エリアを自然志向のお客様の Destination(目的地)としてもらえるよう、世界へ情報発信すると共に自然の中で生きる力家族や友人とのコミュニケーション等、現代社会で失われつつある「自然と人のつながり」「人と人とのつながり」を大切にし、自然と共に生きることにより人間性を回復するアウトドアスタイルとしてキャンプやグランピングを切り口とした特別な時間や新しいライフスタイルを提案して行きたいと考えています。

上記の主要株主に目を向けると(株)スノーピークを核に魅力発信の要を担当する(株)電通の姿が見えてきます。

次に事業内容と具体的取り組み・方向性について示します。

【基本理念】 十勝をアウトドアの聖地にする

■ **旅行業・宿泊業**

グランピング、キャンプのアウトドアと食、十勝の魅力をかけ合わせた他にない旅行プランの構築・販売

■ **WEB事業**

十勝のプラットフォームとしてアウトドアの情報、アクティビティ、ギアレンタルなどがワンストップで対応できる仕組みを構築する。

■ **レンタル事業**

SPギアやキッチンカーを事業者へレンタル。イベントや福利厚生、自治体・企業などへ幅広く対応し、質の向上とアウトドアの発展を促進する



■ **物販事業**

アウトドア事業者や自治体などにSP製品を販売する。また施設での提案できる拠点を増やし、十勝にアウトドアを根付かせる。食の販売も行い、十勝の食の魅力をアウトドアに絡めて発信・提供する

■ **コンサル事業**

キャンプ場や店舗、ホテルなどを野遊びを含めたS級のクオリティに押し上げる

・ **ビジネスソリューションズ事業**

SPと連携し、企業の研修や旅行、福利厚生など十勝の壮大なフィールドで担う

<取り組みの方向性>

○ **滞在時間の拡張**

・ キャンプやグランピングをベースに、地域のアクティビティを組み合わせることで十勝のアウトドアフィールドを開発する

○ **自然環境や食など地域の強味を生かす**

○ **体験型観光を推進する体制を整備する**

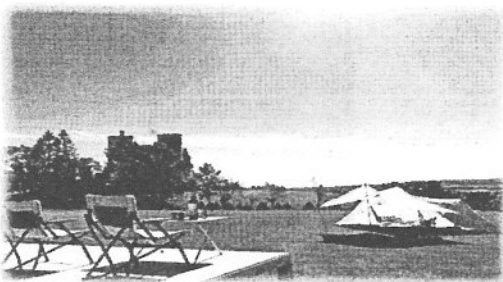
○ **ホテルと組み合わせたアウトドアを開発し、ビジネス需要も取り込む**

キャンプを可能に→デスティネーションフィールド

○十勝管内にある、ロケーションや自然景観に優れたフィールド（場所）を自治体や事業者と協力し、キャンプなどの宿泊や新しいコンテンツ・サービスが可能なフィールドとして開発していく。

○これまで存在しなかった、アウトドア目線のプレミアムなフィールド・宿泊・体験・時間を提供。一般観光客だけでなく、アウトドア志向の観光客も誘致する。

○十勝の新しい魅力を国内外に発信していく。



池田ワイン城横イベント広場（移住体験モニターツアー実施）



十勝千年の森（2018年旅行商品販売） 21

<キャンプ・グランピング>

キャンプ・グランピングを切り口とし、十勝の魅力である雄大な自然空間を掛け合わせることで、今ある魅力をさらに特別に。

①既存のフィールド
（キャンプ場などすでにキャンプをしている場所）

②既存のフィールドだが、まだキャンプ・グランピングで活用していない場所
例：池田ワイン場横・千年の森など

③まだフィールドとして認知されていない場所
→ここが重要
例：農場・牧場やホテルの敷地、河川など

キャンプ・グランピングであれば上記全てを有効活用できる
さらにスノーピークの力を最大限利用することにより、既存アウトドアユーザーへの認知も可能



つまり、観光資源としてお金を生み出すことが可能。＝地域の発展

このように「十勝をアウトドアの聖地に」への事業展開は十勝に限らず釧路地域にも可能と受け止めます。特に観光客誘致に厳しい音別地^{トキベ}をはじめ市内に存在する観光資源と豊富な農産・海産物は、充分にそのニーズに応えることができるでしょう。また既にアウトドア商品として発信しているカヌーなど、将来的に商品の拡大は重要な課題である^のと同時に、冬期間に提供する商品が少なくキャンプやグランピングをベースにした事業は、冬場でも可能となることから釧路地域での取り組みを加速させたい。

特に意見交換で見えてきたのは冬をはじめ夏場に適切に対応出来るスタッフの不足が挙げられ、今後の育成や企画、実行部隊など新規事業によるところから経験者が少ないとのこと。また既存フィールドでは整っているが新たな場所での水・排水、さらにはクマ・シカなどの問題^を表した^か場合の対策はどのようにしているのか、との声もありました。^が発生しかし課題を一つ一つ解決していくことによって明るい観光分野の開拓が可能であるなら挑戦をしていきたい。